

令和3年度 第3回 藤沢市介護保険運営協議会

日 時 : 2022年(令和4年)2月2日(水)

午後2時00分から午後4時00分まで

会 場 : 藤沢市役所 本庁舎7階 7-1・7-2会議室

開催形式: WEB会議

1 開 会

・事務局

定刻となりましたので、ただいまから「令和3年度 第3回藤沢市介護保険運営協議会」を開催させていただきます。

司会を務めさせていただきます介護保険課の門田と申します。よろしくお願いいたします。

この会議は会議録を作成し、公開することとなっておりますので、会議の内容を録音させていただきます。

議題(1)から(6)につきましては公開といたしますが、議題(7)につきましては、「非公開情報」が含まれるため非公開といたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

ここからの進行につきましては、木原会長にお願いしたいと思いますが、木原会長から都合により遅参されるとの連絡がありましたので、到着されるまで事務局が進行いたします。

なお、ご発言をされる委員の方は、挙手をしていただき、事務局より指名がありましたら、発言をお願いいたします。

早速、議題に入りたいと思います。

活発にご審議をいただくため、事務局からの説明は簡潔・明瞭にまとめていただきたいと思います。

2 議 題

<公開議題>

(1) 令和3年度 藤沢市介護保険事業の実施状況

・事務局

【資料1】に基づき説明・事前質問に回答

・事務局(司会)

事務局の説明及び回答が終わりました。他にご質問・ご意見などがありましたらお願いいたします。

・菅原委員

介護保険事業所の経営はそれほどひっ迫していないという回答がありましたが、それはどのようなところからお考えになられたかという点と、衛生用品の配布については何をどのような形でしているのでしょうか。

また、基準緩和もしているもので、問題はないであろうという回答がありますが、この基準緩和について教えてください。

・事務局

まず、一点目のご質問に対する回答ですが、今回のコロナ禍の中での影響ということで、国や自治体レベルでの支援によっ

て、想定していたよりは、影響が小さかったという回答をさせていただきます。

続いて、基準緩和についてですが、これは代替サービスということで、通常はデイサービスで対応が難しければ訪問型サービスで対応するといったことや、介護報酬の中でも、コロナ禍を配慮した算定もあったと思います。そういったことを総合しての基準緩和と回答させていただいております。

衛生用品については、マスク、消毒液、防護服等の不足状況を調査して、不足している事業所に対して配布をしてきたというところでは、

- ・ 菅原委員 これから先、物品が足りない事業所は、市役所に言えば頂戴できるということでしょうか。
- ・ 事務局 国へも直接申し込みをすればマスクを配布していたと思います。また、感染症が発生した際に神奈川県へ連絡をとっていただいた上で、神奈川県から配布されるまでの間、間に合わないということであれば市も備蓄しているもので対応していきたいと思います。
- ・ 菅原委員 事業所が困っている時にどうするかという問題があると思います。現在、陽性者だけでなく、濃厚接触者あるいは発熱者だとしても、フルPPE（PPE：ガウン、手袋、マスク、キャップ、エプロン、シューカバー、フェイスシールド、ゴーグルなど）で対応しなければならない状況です。
市としては陽性者が出ないと配布してもらえないということでしょうか。
- ・ 事務局 要相談とはなりますが、基本的には感染症が発生しての緊急対応ということで、衛生用品の配布については対応させていただきたいと思います。
- ・ 菅原委員 わかりました。
また、多くの事業所でクラスターが発生している状況ですが、オミクロン株が流行してから藤沢市内の介護事業所で何件のクラスターが発生していますでしょうか。
- ・ 事務局 10数か所から陽性者が出たという報告を受けております。
- ・ 菅原委員 報告があった事業所に対し、市はどのような手助けをしているのでしょうか。
- ・ 事務局 保健所の疫学調査を含め、その事業所に対しての指導支援となります。また、神奈川県にはクラスター対策班が構えております。
- ・ 菅原委員 では、事業所でクラスターが発生した場合、県のクラスター

対策班が来ていただけるということですね。

具体的には、何日程度で来ていただけるのでしょうか。

また、今までの10数か所のうち何件、県のクラスター班が来ていただいたのでしょうか。

- ・事務局 申し訳ございませんが詳細については、保健所の管轄となりますので回答できません。
- ・菅原委員 市と保健所でしっかりと連携を取られた上で、明確な対策をお示しいただきたいと思います。
- ・事務局 了解しました。
- ・事務局（司会） 菅原委員ありがとうございました。他にご質問のある委員はお願いいたします。
- ・関根委員 菅原委員の意見に付随しますが、コロナ関係の質問について即答していただくために、この運営協議会に、保健所の担当職員に参加していただくようお願いしたいのですがいかがでしょうか。
- ・事務局 それについては、議題に応じて検討したいと思います。
- ・関根委員 議題に応じてではなく、次回の令和4年度1回目の協議会で、コロナについて保健所の対応をお示しいただきたいと思います。福祉部だけでは解決しない問題ですので、次回の議題に取り上げていただくようお願いいたします。
- ・菅原委員 コロナ陽性者が出た事業所について、通所介護事業所A社というような名前は伏せた形で結構ですので、公表していただけないでしょうか。
- ・事務局 事業所の公開につきましては、風評被害やその事業所の都合もございますので、名前を伏せた形であっても公表することは、現時点ではできませんのでご理解ください。

（2）令和3年度地域包括支援センター事業報告について

- ・事務局 【資料2】に基づき説明・事前質問に回答
- ・事務局（司会） 事務局の説明及び回答が終わりました。他にご質問・ご意見などがありましたらお願いいたします。
(質問・意見なし)

（3）指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの業務委託可能な居宅介護支援事業所の承認

- ・事務局 【資料3】に基づき説明・事前質問に回答
- ・事務局（司会） 事務局の説明及び回答が終わりました。他にご質問・ご意見などがありましたらお願いいたします。
(質問・意見なし)
- ・事務局（司会） ご意見が無いようですので、今回の審議事項の内容について

は、この運営協議会で承認していただいたことといたします。

(4) 地域包括ケア「見える化」システムを活用した介護保険事業の地域分析

- ・事務局 【資料4】に基づき説明・事前質問に回答
 - ・事務局（司会） 事務局の説明及び回答が終わりました。他にご質問・ご意見などがありましたらお願いいたします。
 - ・関根委員 資料及び質問の回答に高齢者の保健事業の所管課とありますがどこの課になりますでしょうか。
 - ・事務局 高齢者支援課と健康づくり課になります。
 - ・関根委員 介護度の高い方（要介護3以上）の比率が少ないということを強調されていますが、介護度が低い方の認定率が高いために、そのように見えているだけであり、介護度の高い方の人数は多いと思います。
同程度の規模の市と比べた時に、要介護3～5の認定者数がどのくらい少ないのかという分析をしてからでないと介護度の高い方の比率が少ないとは言えないのではないのでしょうか。
 - ・事務局 関根委員のお話を受けて、今後、総数についても踏み込んだ見せ方ができるよう検討いたします。今後、改めてお示しした際は、ご意見くださいますようお願いいたします。
 - ・横倉委員 介護度の低い方の認定率が高いということは、介護予防に力をいれているということで、結果的に介護度の重い方を少なくすると方針で進めていくということでしょうか。
 - ・事務局 新規で認定される方の病状等を把握する等、軽度認定率が高い要因を施策に反映していきたいと考えております。
 - ・関根委員 介護認定及び要支援認定されたからといってサービスを利用するということが前提ではない方も多いように感じます。
例えば、福祉用具が必要だから要支援認定を受ける方もいて、そういったことも考慮して、資料1の内容を見るとまた違うものが見えてくると思います。
 - ・事務局 関根委員がおっしゃるとおり、福祉用具貸与や住宅改修ありきの認定申請があるという認識をしております。
そのような課題も含めて、介護予防事業を充実させていけるように取り組んでいきたいと思っております。
- (5) 令和4年度地域密着型サービス事業所の整備・運営事業者の募集
- ・事務局 【資料5】に基づき説明・事前質問に回答
 - ・事務局（司会） 事務局の説明及び回答が終わりました。他にご質問・ご意見などがありましたらお願いいたします。
(質問・意見なし)

(6) いきいき長寿プラン2026に向けた介護サービス利用状況調査(案)

- ・事務局 【資料6】に基づき説明・事前質問はなし
- ・事務局(司会) 事務局の説明が終わりました。ご質問・ご意見などがありましたらお願いいたします。
- ・菅原委員 アンケートに歯の本数を記載する箇所(問10)がありますが、高齢者には、自分の歯が何本あるかわからない人もいますので、「不明」という選択肢も増やしてはいかがでしょうか。
- ・関根委員 菅原委員がおっしゃるように、歯の本数は本人に聞いてもわからないと思います。
国が令和元年に、「高齢者の特性を踏まえた保健事業のガイドライン第2版」というものを出しています。その中に示しているのが、食事をちゃんと取っているか、半年前から固いものが食べにくくなっていないかということで、こういう項目を質問事項に入れる方が良いと思うので、アンケートの質問事項については、再度検討をしていただいた方がよろしいと思います。
- ・事務局 ご意見を参考にさせていただきます。再考いたしますので、後日、個別具体的に教えていただきますようよろしくお願いいたします。
- ・横倉委員 ここ2年間で尋常ではないコロナ禍の状況にあったので、前回と一概に比較することは難しいように思います。
そこで、コロナ禍に関連した内容を入れるよう検討してはいかがでしょうか。
- ・事務局 横倉委員がおっしゃるように、コロナ禍になってしまったことで、前回の調査とは大きく違うものとなっておりますので、検討し、お示しいたします。
- ・菅原委員 事前質問16の回答で「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が24時間体制での緊急時対応も行っており」とありますが、災害時における体制と普段の体制は全く別物であること、また、サービス利用者へのみの対応となることを周知する際は、考慮していただくようお願いいたします。
- ・事務局 了解しました。
- ・関根委員 調査内容について、サービス事業者の代表の方にもご意見を伺うとよろしいのではないのでしょうか。
- ・事務局 事業者調査についても行う予定になっておりますので、また次回以降にお示しいたします。
- ・事務局(司会) ここで、木原会長が到着いたしましたので、ここからの進行につきましては、木原会長にお願いしたいと思います。

<非公開議題>

(7) 地域密着型サービス事業者等の指定状況（非公開）

3 閉会

・木原会長

以上で、本日の議題はすべて終了いたしました。最後に福祉部長からご挨拶をいただきたいと思います。

・池田福祉部長

活発なご議論をありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症に関しましては、様々なご意見等あるのは重々承知をしております。市の職員も感染者が増えてまいりまして、市の業務を一部停止せざるを得ないということを検討している状況です。

昨年12月28日に、「孤独・孤立対策推進会議」が行われ、重点計画というものを発表しました。その中で、新型コロナウイルス感染症の前は、支え合う機会の減少が大きな課題であったが、感染症が拡大してからは、支援を受ける機会の創出ということが、課題になるということをご前提として考えていただいております。

私達も新型コロナウイルスを前提に様々なこれからの施策を考えていかなければならないと考えておりますので、この協議会においても、コロナの状況等をご報告させていただく必要があるというように感じました。

また、保健所職員の出席につきましては、現在、保健所職員の業務をいかに減らしていくかということが課題になっておりますので、この協議会に参加するというのは難しいと思われま

す。ただ、あらかじめ議題をあげて、ご質問をいただいたものに回答するということが可能だと思いますので、臨機応変に対応していきたいというふうに考えております。

神奈川県独自のルールで自主療養というものができました。これは、自身で検査をして、陽性であれば、県のシステムに登録をして自主的に療養するというものです。

そうすると、実際の感染者数が把握しづらくなってしまいます。そのようなことも踏まえまして、情報提供、ホームページ等で感染状況をどう報告していくかについては、十分検討していきたいと思っております。

来年度も活発なご議論をお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。今年度1年間ありがとうございました。

以上